

2022 年 6 月 7 日

関係者各位

独立行政法人国立科学博物館
標本資料センター 神保 宇嗣

第 39 回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会の開催について（案内）

平素より自然史標本データ整備事業にご協力下さり、ありがとうございます。

第 39 回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会を下記のとおり Zoom を利用して開催します。昨年に引き続き、本年も新型コロナウイルス対策のため、対面集会ではなくオンライン形式での開催にさせていただきます。

多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。ご参加いただける場合には、6 月 19 日（日）までに下記の事前申し込みフォームよりお名前、ご所属をご連絡ください。

記

日時： 2022 年 6 月 25 日（土） 13 時 30 分 ～ 15 時 30 分

場所： Zoom を利用したインターネット会合

事前申し込み：<https://forms.gle/d6rGuxPTuDMnUso6>

※受付後、折返し Zoom の URL をお知らせします。

申込締め切り：2022 年 6 月 19 日（日）24 時

主催： 国立科学博物館

協力： NPO 法人西日本自然史系博物館ネットワーク

プログラムは別紙をご覧ください。

本件に関する連絡先

国立科学博物館

神保 宇嗣・江守 知保

電話：029-853-8277 E-mail：s-net_info@kahaku.go.jp

第 39 回 自然史標本情報発信に関する研究会
ー新しくなった S-Net システムの紹介とデータベース連携ー

サイエンスミュージアムネット（S-Net）は、全国の自然史系博物館・研究機関が参加して作る自然史標本データ共有ネットワークです。S-Net 上の自然史標本等のデータは 600 万件を超え、参加機関も 100 機関を超えて本事業に携わる方も増えてきております。S-Net 事務局ではデータ管理の効率化やデータ精度の向上を目指し、システムやツール類の改善を続けるとともに、その利用法を皆様にお伝えするため、冊子や動画でのマニュアル作りも進めております。S-Net は本年 4 月にウェブ公開システムのシステム更新が実施され、データ管理の効率化と、より利活用しやすいデータ公開の改善が図られました。また、文部科学省のナショナルバイオリソースプロジェクト（NBRP）は本年度から第 5 期に入りました。本事業を含め、日本の生物多様性データの集積と公開を行ってきた日本生物多様性イニシアチブ（JBIF）の活動は NBRP の課題として採択され、S-Net のさらなるデータの拡充および利活用が期待されています。一方、S-Net を含む様々な分野のデータベースを連携させることで、多様なコンテンツをまとめて検索・閲覧・活用できるプラットフォームを整備する動きも進められています。

そこで、今回のオンライン会合では、第 5 期 NBRP での活動計画と新しくなった S-Net システムについてご紹介するとともに、様々なデータベースの連携に関連した事例の話題提供をいたします。今回の会合を通じて、新 S-Net システムの利用推進や、様々なデータベースとの連携によるデータのさらなる利活用に結びつけたいと思います。

<プログラム>

- ・開会挨拶・注意事項 神保 宇嗣（国立科博）
- ・第 5 期 NBRP における JBIF および S-Net の活動方針 神保 宇嗣（国立科博）
- ・新 S-Net システムの紹介とデータ提出時の注意事項 神保 宇嗣・水沼 登志恵（国立科博）
- ・遺伝子データの世界から博物館データの世界へアクセスする 松前ひろみ（東海大）
- ・大学学術資料の公開と活用：領域を横断して資料を活用してもらうには 齊藤有里加（農工大）

ご参加いただくには、事前のお申し込みが必要です。

下記のサイトより、お申し込みいただければ幸いです。

事前申し込み：<https://forms.gle/d6rGuxPTuDMnUso6>

※Zoom の URL 等は開催近くになりましたら、メールでお知らせします。